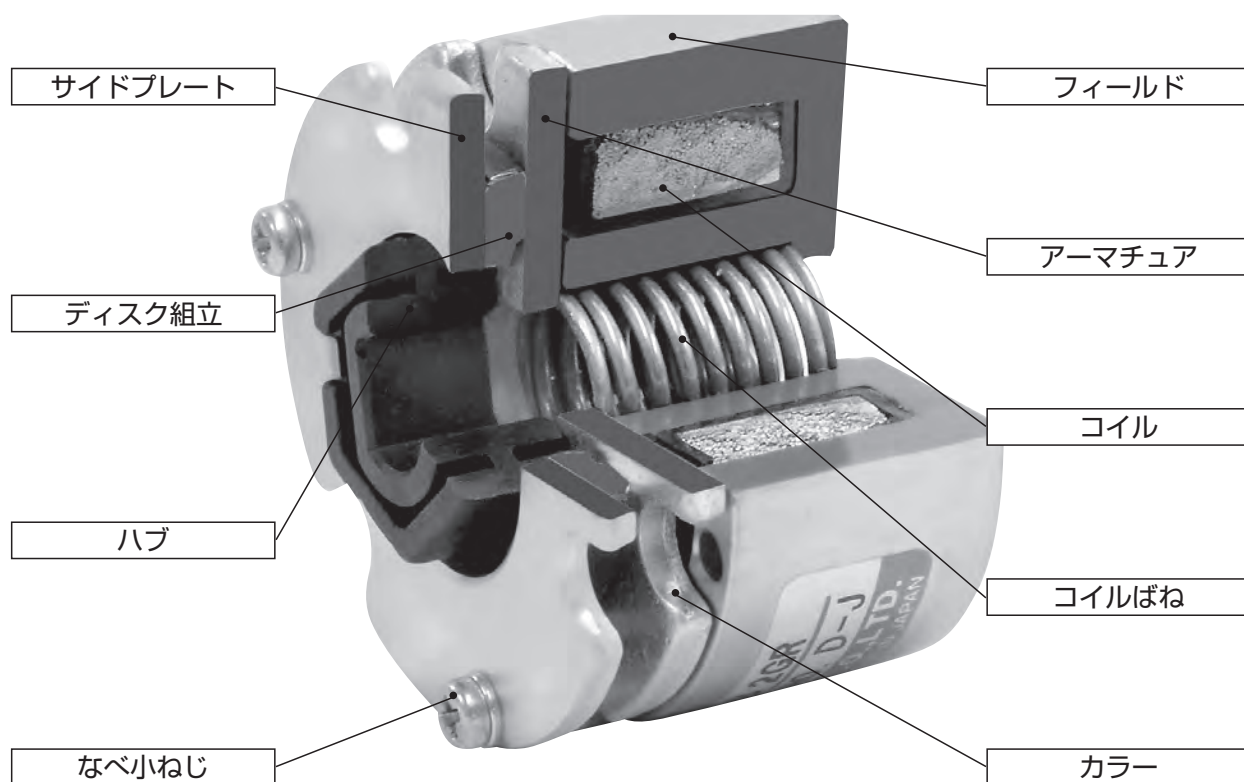


構造と動作

励磁コイルを内蔵したフィールドに、アーマチュア、ディスク組立およびサイドプレートが、カラーを介してなべ小ねじで取り付けられています。アーマチュアはフィールドとわずかな空隙を隔ててカラーによって支持され、フィールドに内蔵したコイルばねの荷重を受け、ディスク組立を圧着しトルクを発生する構造となっています。デ

ィスク組立の内径部には、六角形状のハブが嵌合しています。

コイルに通電すると、アーマチュアはフィールドに吸引され、ブレーキは解放します。励磁を切ると、アーマチュアはコイルばねの力でブレーキディスクを圧着し、急速にブレーキが掛かります。



MCNB形 マイクロ無励磁作動ブレーキ

形式表示

MCNB 2 G S

形式記号

● MCNB: マイクロ無励磁作動ブレーキ

トルクサイズ

2: 0.2 N·m
5: 0.5 N·m
10: 1 N·m

機能記号

S: 制動ブレーキ
R: 保持ブレーキ

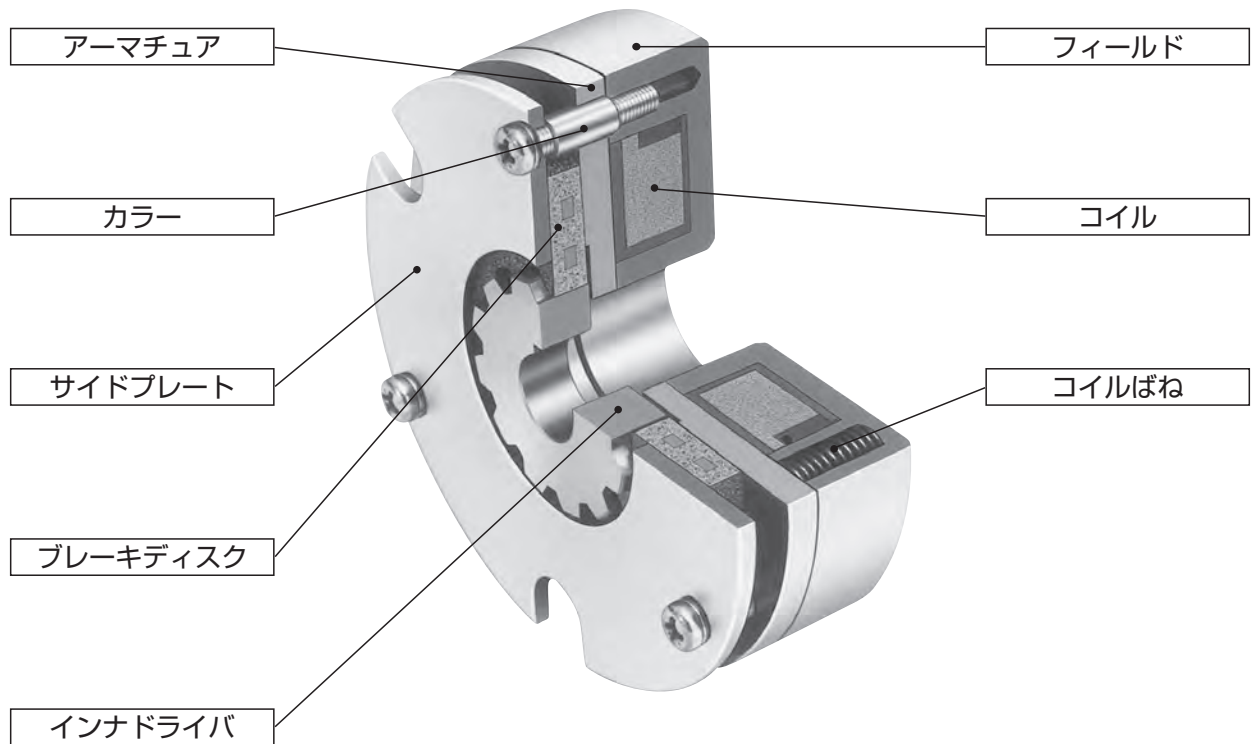
電圧記号

G: DC24V
K: DC90V

構造と動作

フィールドにカラーを介してボルトで固定されたサイドプレートとカラーで支持されたアーマチュアの間にあるブレーキディスクをコイルばねで圧着し、トルクを発生する構造になっています。ブレーキディスクのスプライン部にインナドライバが嵌合しています。

コイルに通電すると、アーマチュアはフィールドに吸引され、ブレーキは解放します。励磁を切ると、アーマチュアはコイルばねの力でブレーキディスクを圧着し、急速にブレーキが掛かります。



SNB-N 形 無励磁作動ブレーキ

形式表示

SNB 5 G-N

形式記号

● SNB-N : 無励磁作動ブレーキ〔制動用〕

電圧記号

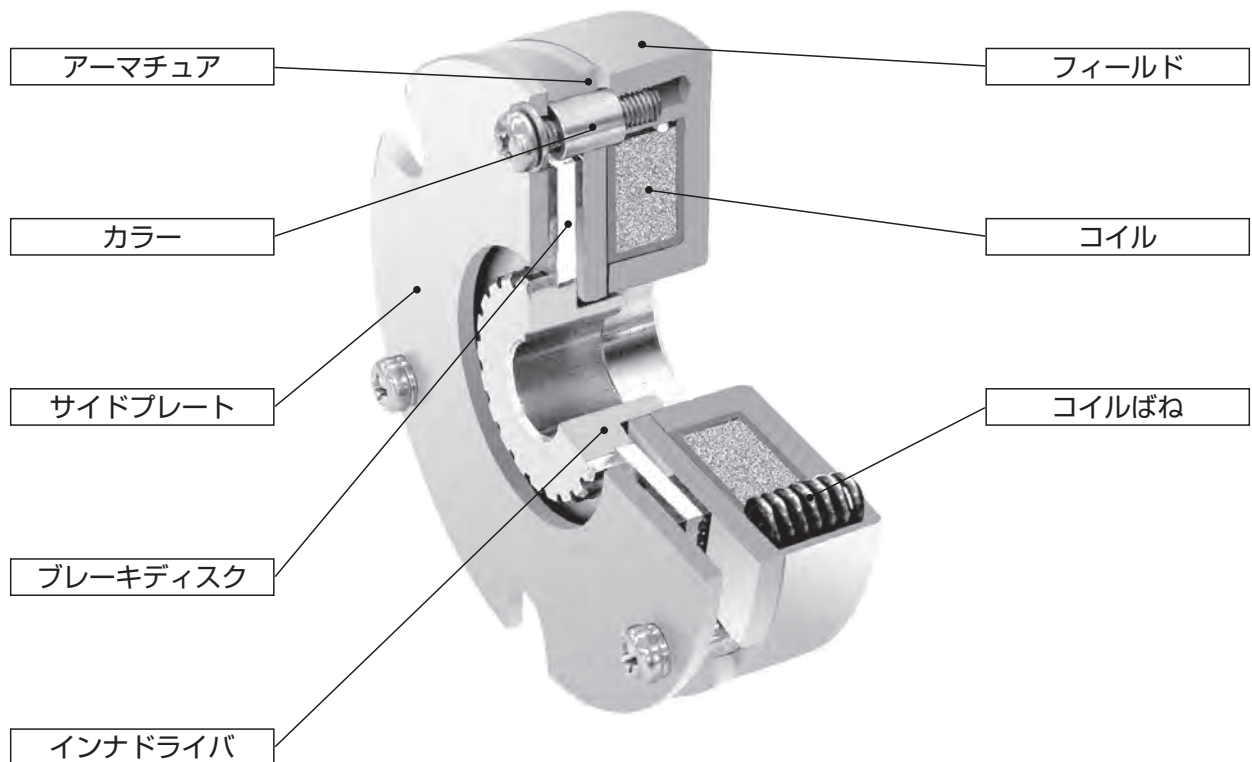
G : DC24V
K : DC90V

トルクサイズ

構造と動作

フィールドにカラーを介してボルトで固定されたサイドプレートとカラーで支持されたアーマチュアの間にあるブレーキディスクをコイルばねで圧着し、トルクを発生する構造になっています。ブレーキディスクのスプライン部にインナドライバが嵌合しています。

コイルに通電すると、アーマチュアはフィールドに吸引され、ブレーキは解放します。励磁を切ると、アーマチュアはコイルばねの力でブレーキディスクを圧着し、急速にブレーキが掛かります。



RNB-N形 無励磁作動ブレーキ

形式表示

RNB 5 G-N

形式記号

●RNB-N：無励磁作動ブレーキ〔保持・非常停止用〕

電圧記号

G：DC24V
K：DC90V

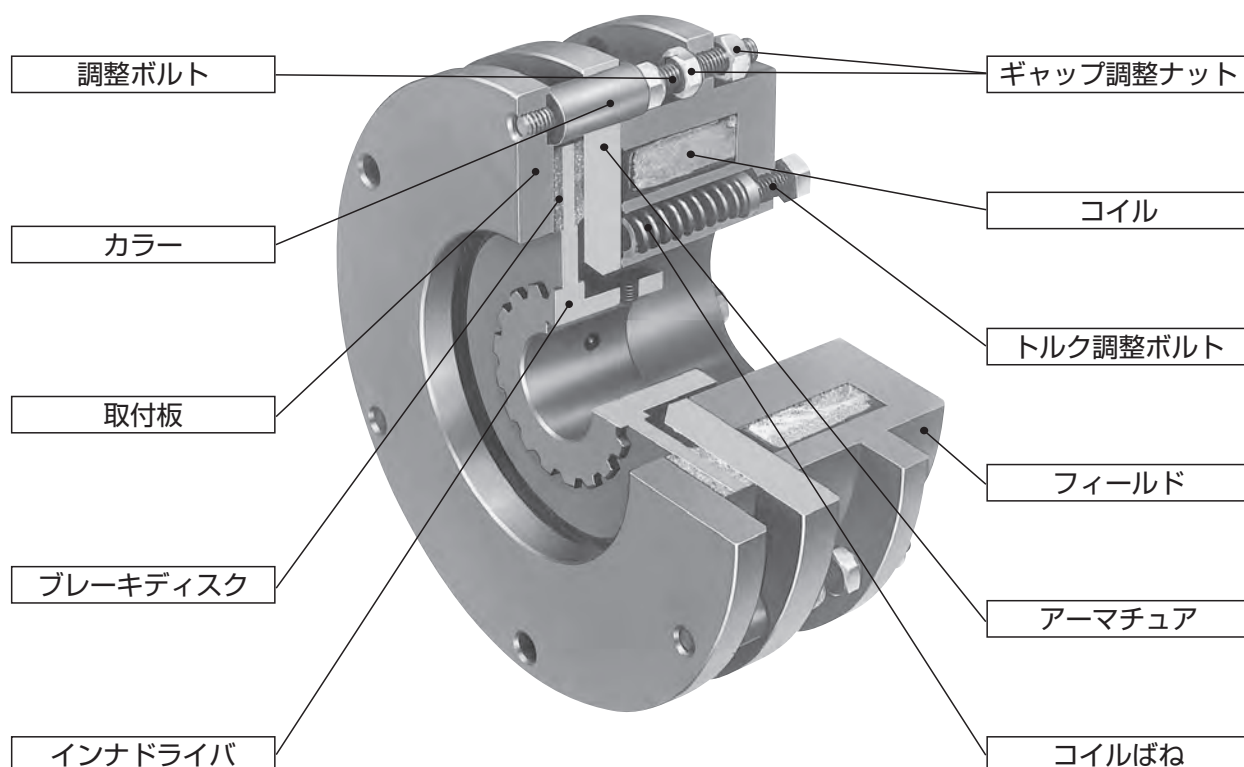
トルクサイズ

構造と動作

取付板に固定されたカラーにアーマチュアが支持され、調整ボルトにフィールドが取り付けられています。ブレーキディスクは取付板とアーマチュアの間に入り、コイルばねで圧着されトルクを発生する構造になっています。ブレーキディスクのスプライン部にインナドライバが嵌合しています。

また、MNB-N形にはトルク調整、ギャップ調整および手動解放機構が付いています。

コイルに通電すると、フィールドとアーマチュア間に磁束が生じ、アーマチュアはフィールドに吸引され、ブレーキは解放します。励磁を切ると、アーマチュアはコイルばねの力でブレーキディスクを圧着し、急速にブレーキが掛かります。



MNB-N形 無励磁作動ブレーキ

形式表示

MNB 10 G-N

形式記号

● MNB-N : 無励磁作動ブレーキ

電圧記号

G : DC24V

J : DC72V

K : DC90V

トルクサイズ

構造と動作

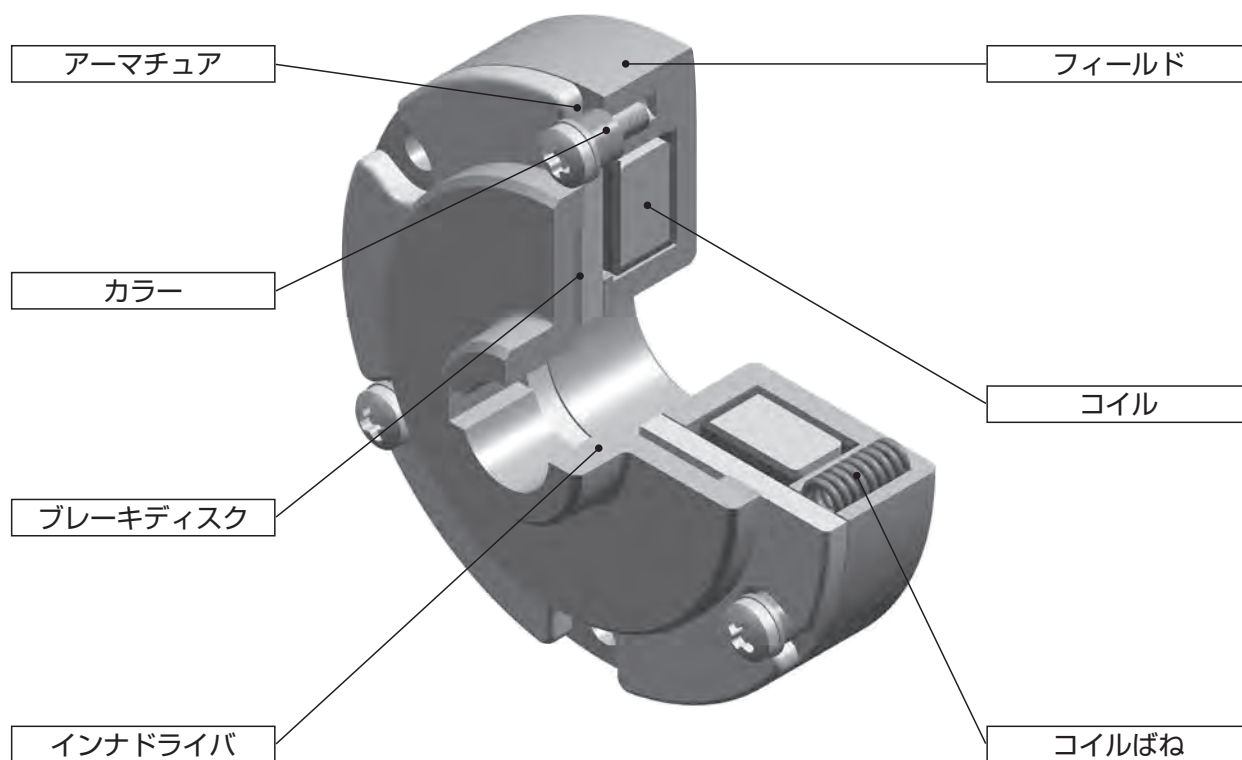
フィールドにはカラーがボルトで固定されています。

カラーによって支持されたアーマチュアにはブレーキディスクが接着されており、軸方向のみに移動できます。

アーマチュアがコイルばねの力を受けると、ブレーキディスクは相手軸に固定されたインナドライバに圧着され、トルクが発生する構造になっています。

コイルに通電すると、フィールドとアーマチュア間に磁束が生じ、アーマチュアはフィールドに吸引され、ブレーキは解放します。

励磁を切ると、アーマチュアはコイルばねの力でブレーキディスクをインナドライバに圧着し、急速にブレーキが掛かります。



FNB-N形 無励磁作動ブレーキ

■インナドライバは付属しておりません。ご要望により特殊製作いたします。

形式表示

FNB 0.2 G-N

形式記号

● FNB-N : 無励磁作動ブレーキ〔保持・非常停止用〕

電圧記号

G : DC24V
K : DC90V

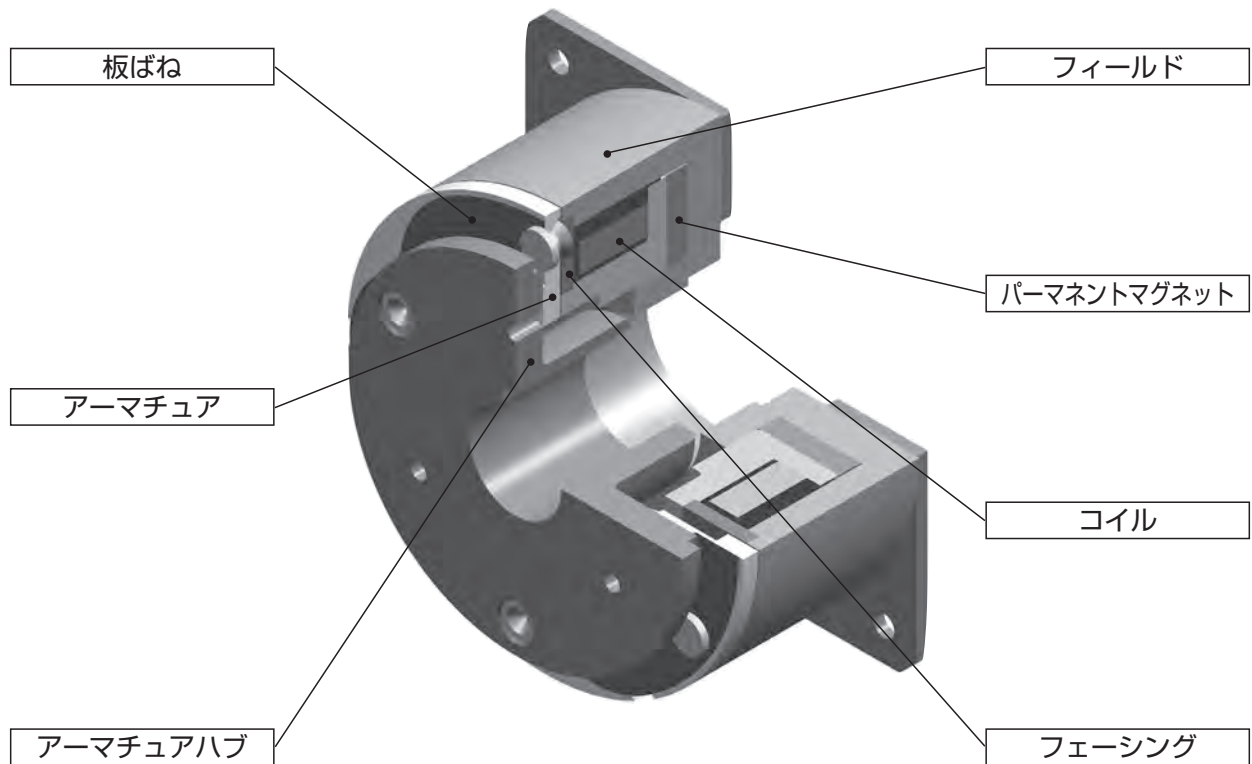
トルクサイズ

構造と動作

コイルとパーマネントマグネットを組み込んだフィールド（固定部）とアーマチュアハブ組立（回転部）から構成されています。

パーマネントマグネットによる磁束を打ち消すようにコイルに通電すると、フィールドの吸引

力が消滅し、アーマチュアは板ばねの力によりフィールドから切り離され、ブレーキは解放します。励磁電圧を切ると、パーマネントマグネットの磁束により、アーマチュアがフィールドに吸引され、急速にブレーキが掛かります。



PNB形 無励磁作動ブレーキ

形式表示

PNB 5 A

形式記号

● PNB: パーマネントマグネットタイプ無励磁作動ブレーキ

アーマチュア方式

A: オートギャップ式
B: 板ばね駆動式

トルクサイズ

構造と動作

コイルを内蔵したフィールド（静止部）は玉軸受で支持されています。

ロータ（回転部）と一体化になったアウトドライバにはアーマチュア、アウトディスクがラグ嵌合され、インナディスクを交互に入れた後に調整ナットがネジ結合されています。

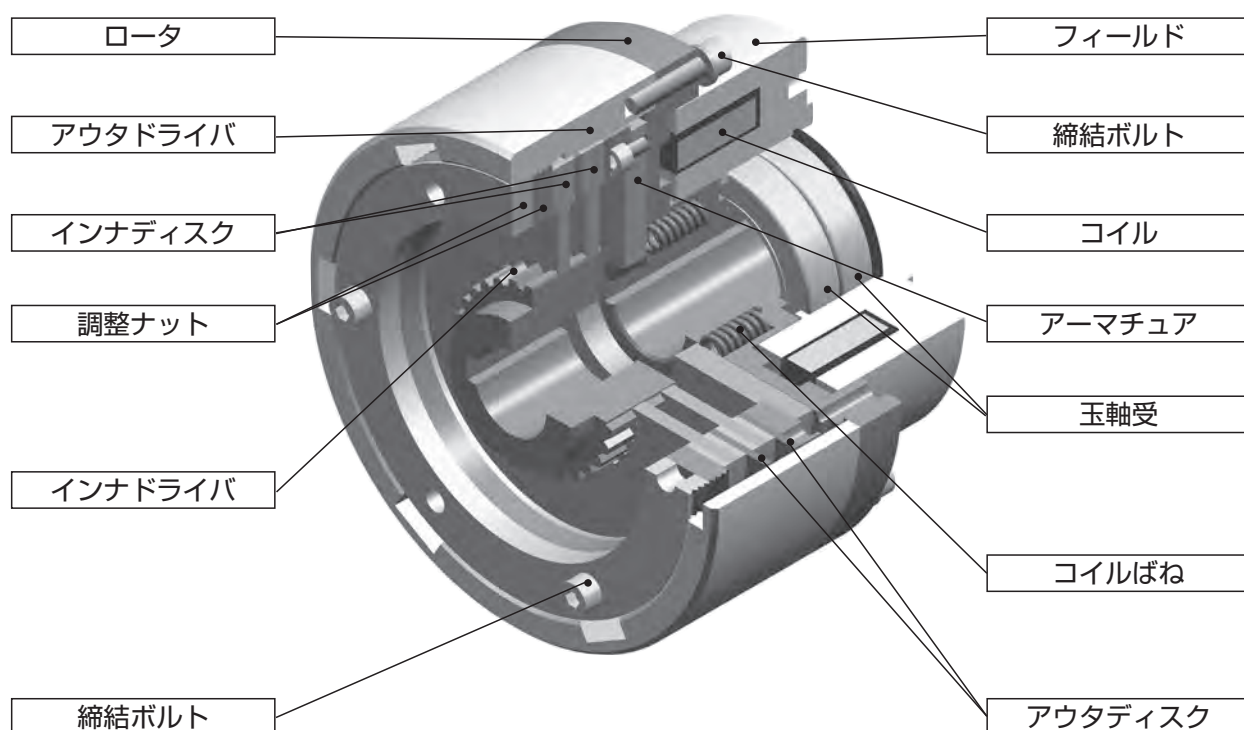
調整ナットはロータに内蔵されたコイルばねの力を受けています。

また、インナドライバはインナディスクとスプライン嵌合しています。

コイルばねの力はアーマチュアを介してアウトディスク、インナディスクに伝わり圧着され、トルクを発生する構造になっております。

コイルに通電すると、フィールド、ロータおよびアーマチュア間に磁束が生じ、アーマチュアはロータに吸引され、クラッチは解放します。

励磁を切ると、アーマチュアはコイルばねの力でロータから切り離され、アウトディスク、インナディスクは圧着されるので、クラッチは急速に連結します。



SMC形 無励磁作動クラッチ

形式表示

SMC 1.2

形式記号

● SMC : 無励磁作動クラッチ

トルクサイズ